

授業科目名 <英訳>	観察疫学研究 Observational Epidemiology				担当者所属・ 職名・氏名	医学研究科 教授 福原 俊一					
配当 学年	専門職	単位数	1	開講年度・ 開講期	2018・ 前期集中	曜時限	前期後半：金1	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語
【授業の概要・目的】											
近年、データベース研究が盛んとなり、観察疫学の重要性が増している。このコースは、社会健康医学領域の研究のうち、特に観察疫学研究の基本的な理論・知識を学ぶ。従ってこのコースには、介入研究は含まれない。											
【到達目標】											
1)それぞれのRQに最も適した観察研究のデザインの「型」を選ぶことができる 2)変数を測定するための尺度を開発し検証することができる 3)研究に適した調査研究法を設計することができる 4)傾向スコアを理解する											
【授業計画と内容】											
第1回 6月1日 観察疫学研究の可能性（福原） 第2回 6月15日 観察疫学研究デザインの「型」の種類と特徴（大西） 第3回 6月22日（1限）調査研究の設計と実際1（竹上） 第4回 6月22日（2限）調査研究の設計と実際2（竹上） 第5回 7月6日 傾向スコアの理論と実際（川村） 第6回 7月13日（1限）尺度研究の開発と検証（総論）（岩田） 第7回 7月13日（2限）尺度の開発と検証（各論）（脇田） 第8回 7月27日（8：45～10：00）試験 補講 8月3日（9：30～12:00）尺度の開発と検証（各論)-2（脇田）											
【履修要件】											
・ MPH選択・MCR必修 ・ 「疫学」を履修済み、または「疫学」を履修中であること、かつ「疫学」（MPHコア）を履修することを必須条件とします											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
・ 講義平常点(出席を含む) 40% ・ 筆記試験 60%											
【教科書】											
授業中に指示する											
【参考書等】											
（参考書） 福原 俊一 『臨床研究の道標：7つのステップで学ぶ研究デザイン』（認定NPO法人 健康医療評価研究機構） Hulley S 『Designing Clinical Research 2nd ed.』（William & Wilkins）（和訳：臨床研究のデザイン 医学書院MYW）											
----- 観察疫学研究 (2)へ続く -----											

観察疫学研究 (2)

竹上 未紗, 福原 俊一 『誰も教えてくれなかったQOL活用法』(認定NPO法人 健康医療評価研究機構)

[授業外学習(予習・復習)等]

講義および討論
講義前・後の学習

(その他(オフィスアワー等))

- ・人間健康科学系専攻学生の受講可否: 不可
- ・6/22と7/13は、1、2限となります。ご注意ください。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。